SYGN HOUSE

B+COM ONE

取付マニュアル／クイックマニュアル

Bluetooth

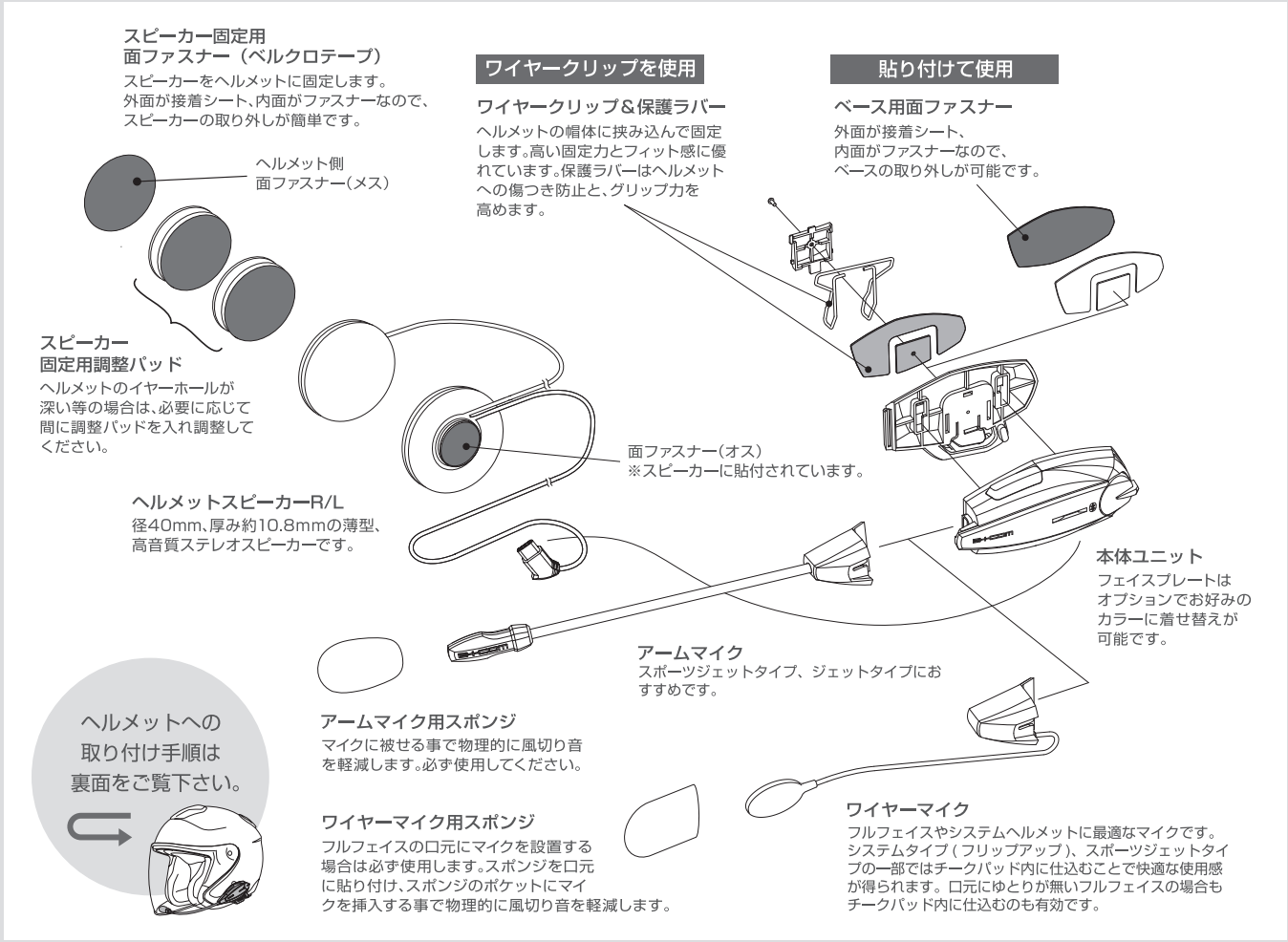
24.09

セット内容

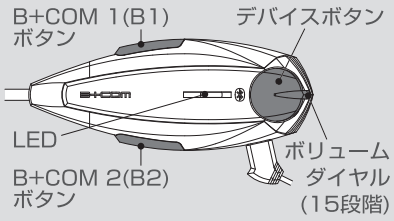
製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- アームマイク × 1 本（アームマイク UNIT に同梱）
- ONE 本体ユニット × 1 台
- ワイヤーマイク × 1 本（ワイヤーマイク UNIT に同梱）
- ベースプレート × 1 個
- ワイヤークリップ × 1 個
- アームマイク用スポンジ × 1 個（アームマイク UNIT に同梱）
- ワイヤーマイク用スポンジ × 1 個（ワイヤーマイク UNIT に同梱）
- ベース用保護ラバー × 1 枚
- スピーカー固定用調整パッド × 4 枚
- ベース用面ファスナー × 1 枚
- スピーカー固定用面ファスナー（オス・メス）× 各 2 枚 ※オスはスピーカーに貼付されています。
- ヘルメットスピーカー × 1 個
- 充電用 USB Type-Cケーブル（アップデート時にも使用）× 1 本
- ユーザーズマニュアル 兼保証書 × 1 部
- クイックマニュアル（本書）×1部

B+COM ONE の構成



使用方法



STEP 1 電源を入れてみよう

⚠ リセット方法につきましてはユーザーズマニュアルをご参照ください。

電源ON
押しながら、上へ 1 秒間回す
LED 青1秒間点灯
サウンド ビーコム起動

電池残量通知
LED
80%以上･･･青 1秒間点灯
50%以上･･･紫 1秒間点灯
30%未満･･･赤 1秒間点灯
要充電･････赤 2回点滅
サウンド
電池残量○○% 以上 / 未満
充電してください(要充電の場合)

スタンバイ
LED 青 点滅

電源OFF
押しながら、下へ 1秒間回す
LED 赤1秒間点灯
サウンド ビーコム終了します

⚠ ご使用の前には必ず充電してください。

STEP 2 スマートフォンと接続して音楽や電話をしてみよう

Ⅰ B+COMとスマートフォンをペアリング（初期登録）する。

デバイスとの接続をしない方はSTEP3へお進みください ▶

① 電源OFFを確認

② 押しながら、上へ 4秒間回す
LED 青＋赤 高速点滅
サウンド「ビーコム起動」「デバイス1ペアリング…」

③ スマートフォンの操作
（iPhoneの例）
設定→Bluetooth→ON
「その他のデバイス」リストからONEを選択。
「自分のデバイス」リスト内のONE が「接続済み」

④ B+COMの表示
LED 青 フェード点滅
サウンド「デバイス1接続」
完了です。

一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

Ⅱ 音楽やラジオ（アプリ）、ナビ音声案内を聴く。

- スマートフォンの操作（・音楽プレーヤー ・ラジオアプリ ・ナビアプリ）：アプリを起動し再生します。
- 音量調整 ボリュームダイヤル：上に1回→1段階＋ 上がる / 下がる / 下に1回→1段階－
- 再生/一時停止 デバイスボタン：1クリック毎 再生⇔停止
- 曲の頭出し/スキップ ボリュームダイヤル：上に1秒間→スキップ FF / REW / 下に1秒間→頭出し

※AVRCP機能があるデバイス・アプリのみ対応。

Ⅲ ハンズフリーで通話する。

- 着信/通話：音楽再生中は曲が停止し、着信音が出力されます。デバイスボタン 1クリックで電話に応答 通話中に1クリックで終話 ※音量調整はⅡ.と同じ操作
- 発信：最後の発信履歴へリダイヤル発信可能です。デバイスボタン 3秒間長押し サウンド リダイヤル

Ⅳ Siri等の音声認識起動

デバイスボタン 2クリック

◎上記Ⅱ～Ⅳは、Bluetooth接続済みで可能な動作となります。
ペアリング後、電源OFFした場合は、B+COMを起動してオートコネクトで再接続を確認してください。
スマートフォン側でBluetoothをOFFにした場合は、ONにして登録済みのONEを選択して接続を行って下さい。

STEP 3 B+COM同士で通話してみよう

B+LINK

●ONE/SB6X同士のB+LINK通話の場合

Ⅰ ONE/SB6X同士を最大6台で同時にペアリング（初期登録）する。

① みんなで近くに集まり電源オンを確認（デバイスは接続したままでOK） LED 青 点滅

② みんなでB1/B2を同時に3秒間長押し LED 緑 高速点滅 サウンド B+LINKグループ登録

③ 誰か一人 B1/B2を同時に1回押す LED 緑 点灯 サウンド サーチ開始

④ 30秒程度待つ自動で会話が始まれば完了 LED 緑 フェード点滅 サウンド B+LINK開始

この操作（ペアリング）は、グループが集合した際に最初だけ必要です。

Ⅱ ペアリング済みのONE/SB6X同士でB+LINKグループ通話する。

① 電源をオンにする 押しながら、上へ 1 秒間回す

② 誰か一人 B1/B2を同時に1回押す LED 緑 点灯 サウンド ポンッポーン（呼出音）

③ 自動で会話が始まれば完了 LED 緑 フェード点滅 サウンド B+LINK開始

B+LINKを切断 通話中に1回押す LED 青 点滅 サウンド B+LINK終了

●SB5X、SB4X/Liteとの通話の場合

Ⅰ SB5X、SB4X/Liteとペアリング（初期登録）する。

B+COM1または、B+COM2ボタンを使用して1人ずつ行います。

2人目の5X/4X / 1人目の5X/4X

B+LINK通話と組み合わせる場合は、必ず B+COM2ボタン に登録します。

●B+COM2ボタンに登録する場合

① ONEの操作 電源オン状態 B2を3秒間長押し LED 赤 高速点滅 サウンド B+COM2ペアリング

② SB5X、SB4X（V2.3～）の場合 電源オン状態 3秒間長押しを2回 / SB4X（V2.0～2.2）の場合 電源オン状態 6秒間長押し

③ ONEの表示 自動で会話が始まれば完了 LED 青 点滅 サウンド B+COM2接続

Ⅱ ペアリング済みのSB5X、SB4X/Liteと接続して通話する

① 電源をオンにする

② 接続は 5X/4X 側から SB5X/4Xの操作 距離が離れて切断した場合も同様です。 ONE とペアリングしたボタンをクリック

③ ONEの表示 自動で会話が始まれば完了 LED 青 点滅 サウンド B+COM2接続

接続後の通話の ON/OFF 通話状態 5X/4Xとペアリングしたボタンをクリック 通話OFF ⇔ 通話ON

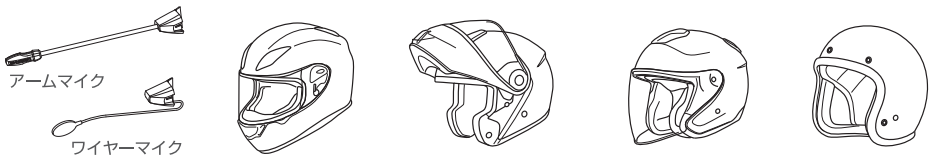
取り付け手順

B+COM ONE の音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

⚠装着時の注意点 ●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。 ●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。 ●接着シートで貼り付けるパーツは、取り付け位置を仮決めして、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼り付けてください。 ●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間に入れてください。 ●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。 ●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

STEP 1 マイクと取り付け手順を確認しよう

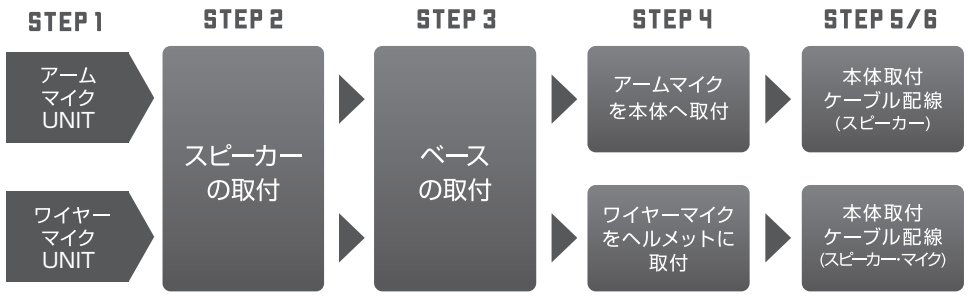
Ⅰ ヘルメットの種類によって適しているマイクが異なります。



	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
アームマイク	△	△	○	○
ワイヤーマイク	○	○※	○※	×

※チークパッド内に入るタイプのみ

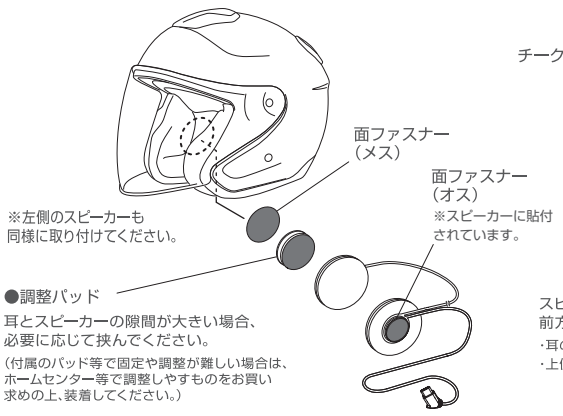
Ⅱ マイク UNIT の種類に合わせて順番に取り付けます。



STEP 2 スピーカーを取り付けよう

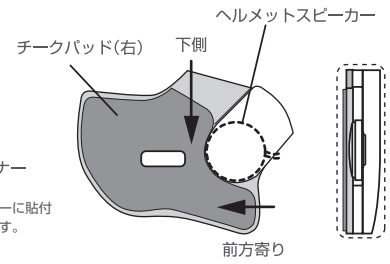
イヤースペースが見えるタイプ (SHOEI社製、ジェットタイプなど)

面ファスナーをスピーカー設置場所のヘルメット面にメス側、スピーカーの裏面にオス側を貼り付けスピーカーを固定します。



チークパッド(システムパッド) のイヤースペースが布で覆われ脱着できるタイプ(Arai社製など)

チークパッドを取り外し、布の中へスピーカーを入れて面ファスナーで固定してください 。



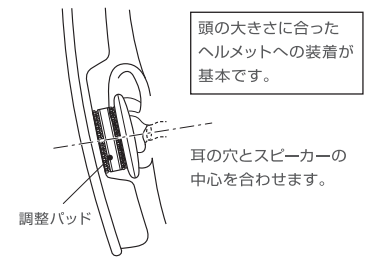
スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに取り付けてください。
・耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
・上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなります。

⚠ ※ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向になります。また、フルフェイスタイプであってもシールドの半開きやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

重要 POINT 取り付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう!

スピーカー単体を耳にあて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でないと、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「(音量を上げると)ノイズがひどい」といった症状になります。

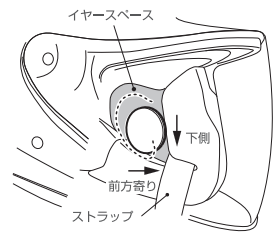
耳にやさしくフィットするよう調整パッドで隙間を調整してください。



●隙間が大きい
→本来の音量、音質が得られない可能性があります。

●耳の中心からずれている
→本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります(特に耳の上部)。

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに、ストラップの付け根に寄せるように取り付けてください。



●耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。

●上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなりにくくなります。

STEP 3 ベースを取り付けよう

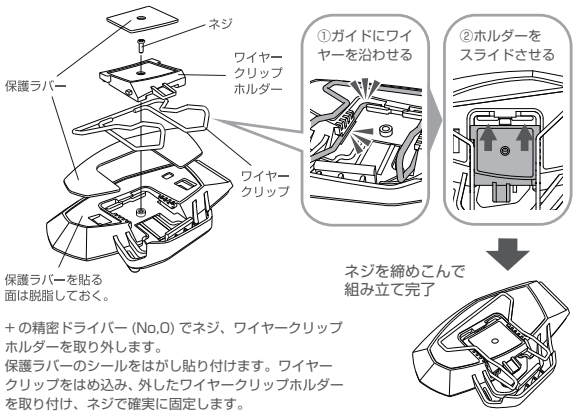
⚠ **組立には精密ドライバー No,0 が必要になります。**

ベースの取付方法は2種類ありますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。
また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置にくるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めしてください。

ワイヤークリップを使用

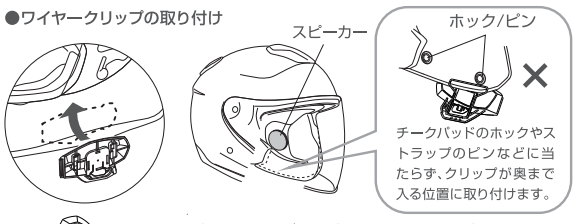
ヘルメット外装へ挟み込むため、確実なホールド性と高いフィット感が得られます。保護ラバーはヘルメット外装への傷防止とグリップ力を提供します。

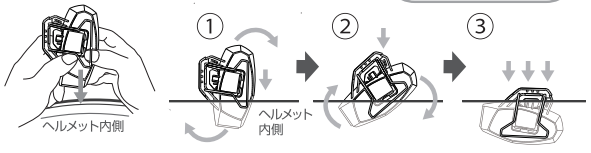
●ワイヤークリップの組立て



＋の精密ドライバー (No,0) でネジ、ワイヤークリップホルダーを取り外します。
保護ラバーのシールをはがし貼り付けます。ワイヤークリップをはめ込み、外したワイヤークリップホルダーを取り付け、ネジで確実に固定します。

●ワイヤークリップの取り付け



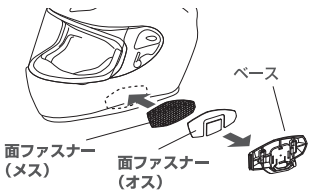


クリップを爪で押し上げ、ヘルメット帽体と内装の隙間にはさみます。

クリップの先端部分が入ったら、押し込みながら滑らすように回転させてヘルメットの下辺と平行になるまで寝かします。

クリップ全体が挿入されたら位置を調整しながら奥まで挿入します。

貼り付けて使用



●面ファスナーで取り付ける場合
付属の面ファスナーをベースとヘルメットに貼り付けます。
ヘルメットとベースのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面接着シートで隙間分を埋めてから貼り付けます。

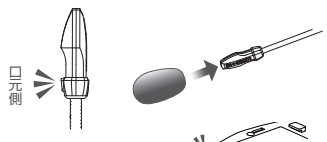
⚠ **貼り付けする面は必ず脱脂を行ってください。**

STEP 4 マイクを取り付けよう

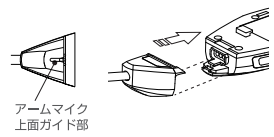
⚠ **マイクの脱着はベースから本体を外してから行ってください。**

アームマイク

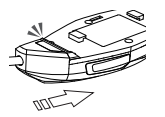
●マイクスポンジの取り付け
突起がある方が口元へ向ける方向です。



●本体へのマイクの取り付け
本体とマイクのガイド部・コネクタ部の位置を合わせます。



位置が合ったら奥までカチッと止まるまで差し込んでください。



●本体からマイクの取り外し
下図のように親指を支点に開くようにゆっくりと平行に引き抜きます。

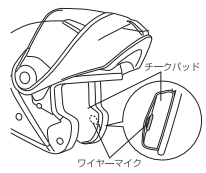
ワイヤーマイク

●マイクスポンジの取り付け

チンガード部の口元に接着シート付きのワイヤーマイク用スポンジを貼り付けます。
なるべく下からの巻き込み風が少ない位置に設置してください。

ワイヤーマイクはヘルメット帽体(外装)とチークパッド(内装)の隙間からケーブルが出るように配線し、マイクスポンジのスリットにマイクを挿入します。

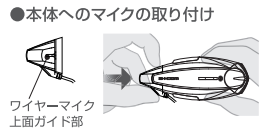
●システムヘルメットや頬パッドの外布が外れるスポーツジェットの場合



システムタイプ/スポーツジェットタイプのヘルメットでは、シールドの開閉時にマイクが邪魔にならず快適な使用感を得られます。
マイクの位置は頬とスポンジに挟まれるできる限り口元に近い位置に入れます。

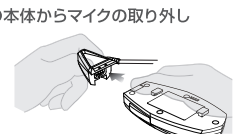
※スポーツジェットの場合、アームマイクに比べ声を拾う大きさは小さくなります。

●本体へのマイクの取り付け



図のようにマイクを持ち、本体とガイド部、コネクターの位置を合わせながらゆっくり差し込みます。

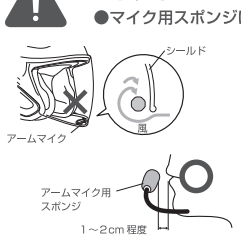
●本体からマイクの取り外し



本体を裏返し、コネクタの接合部の出っ張りを親指の先で押しながら、矢印の方向へ押し出します。

⚠ マイクについての注意点

●マイク用スポンジは必ず使用。物理的に風切り音を軽減します。



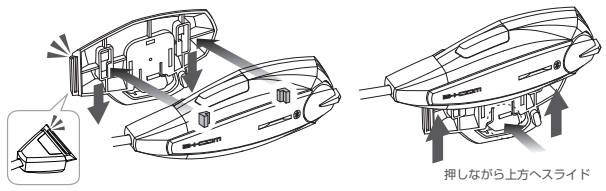
走行中に巻き込み風や流速の早い風がヘルメットに当たる場合、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合があります。(シールド半開き時は特に増大します)

マイクは、シールドの中に入るよう淵から離し、図のように口元に位置を合わせます。
口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないように注意してください。落下の原因となります。

STEP 5 本体と配線を取り付けよう

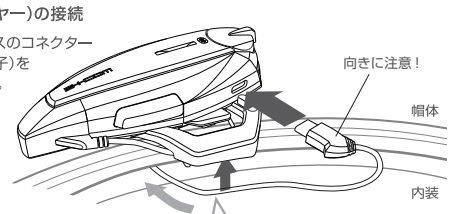
●本体ユニットのベースへの取り付け
本体裏側の突起をベースの穴に合わせて押し込み下方にスライドさせながらカチッと止まるまで下げます。

●本体ユニットからベースの取り外し
ベースプレートのツメを押しながら上方へゆっくりと平行に引き抜きます。



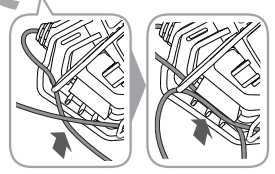
⚠ **アームマイク使用時はマイクの突起とベースの溝を合わせてスライドさせてください。取付が不十分な場合、脱落する恐れがございます。**

●ケーブル(ワイヤー)の接続
スピーカーハーネスのコネクター(USB Type-C端子)を本体につなげます。



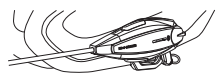
ワイヤーマイクハーネスとスピーカーハーネスはベースプレート裏側の溝に差し込みが可能です。お好みに合わせて調節してください。

※余ったケーブルは傷つけないようにヘルメット帽体と内装の間に押し込んでください。



ワイヤーマイクと本体ユニット間のケーブル、ヘルメットスピーカーと本体ユニット間のケーブルは、内装とヘルメット帽体の間に通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にスピーカーケーブルを傷つけないように押し込んでください。

アームマイク



ワイヤーマイク

⚠ **ケーブルの、折り曲げ、引っ張りは厳禁！**

ヘルメットへの取り付け方法をわかりやすくご案内！

それでもわからない場合は！

サインハウスカスタマーサポートをご利用ください！

お電話で 044-400-1979
インターネットで sygnhouse.jp
サポートはこちら